

令和5年 3月 発行

箕輪町

公民館だより

発行：箕輪町公民館

☎79-2178

今年度の大学・大学院・学級の活動

無事に終了

3/15 合同閉講式 挙行



今年度の大学・学級の活動が、3月15日（水）の合同閉講式をもって無事に終了となりました。ここ数年、コロナ禍に振り回されてきましたが、今年度はほぼ計画した通りの活動ができて、それぞれの学級で生き生きとした学びの姿が見られたり、交流の輪が広がったりしました。

当日は天候にも恵まれ、すっかり春めいた日となり、大学・大学院の卒業生のみなさまには「卒業証書」が、また学級のみなさまには「修了証」が渡されました。会場内には今年度の活動の写真がスライドで映し出され、この一年を振り返る時間となりました。



→ 式前の会場の様子 →



それぞれの代表の方々に、卒業証書・修了証が渡されました。一年間おつかれさまでした。



公民館 座談会

『地域の仲間と共に・・・』

～遊休農地の活用事例から考える



合同閉講式後は公民館座談会と題して、「福与の農地を守る会」（福与）・「富玉会」（富田）・「山ん田の会」（上古田）の代表の方々より、それぞれの団体ができた経緯や今までの活動の様子等を、写真を交えて発表いただきました。

その後、座談会形式で、司会の方より話題をふっていただき、遊休農地をどのように活用していくか、それぞれの実践を通じて話が深まっていきました。活動を通して、人と人との結びつきが深まり、「次」の活動を生んでいく。余っている農地をどうするか、考え合い活動していくことが「地域づくり」にもつながっているように感じました。元気で生き生きと活動されている皆さんばかりで、ユーモアを交えての発表に和やかな空気が場内にあふれました。会場からも積極的な質問や意見が飛び交い、とても意味のある、さらに広がっていく可能性をはらんだ座談会になったように思います。



座談会後は、各学級に分かれての会。自然に拍手が起きたり笑いが起きたりして、和やかにそれぞれの大学、学級の会が終わっていききました。よいまとめの時間となりました。